



農を活かした健康福祉の里づくり事業

発行日:2026年3月
編集・発行:北中城村役場 農林水産課
住所:北中城村字喜舎場 426-2
電話:098-935-2260
FAX:098-935-5536

【健康・福祉の里プロジェクトとは】

- 農を中心とした「食・育・観・住」連携による健康・福祉の里づくりとして4つのテーマに関する取り組みを段階的に進めることで「北中城みらいづくり」の実現を目指します。
- 具体的な施設整備等は、4つのテーマに基づき、6段階に分けて進めていきます。
- 現在、第一～第三段階整備の事業者が決まり、第一段階整備ではバイオガス発電施設等の運用が開始しています。



■本事業で達成すべき4つのテーマ

- 1) 村農産物やエネルギーの地産地消/6次産業化商品
- 2) 農を活かした心身の健康増進
- 3) 村内外に北中城の魅力を伝える観光・体験型の場
- 4) 農を中心とした人と人との交流ある村での暮らし



ユニバーサルビレッジ(第一段階整備)の開業から1年になります！

- ユニバーサルビレッジの各施設は、国の補助を受けて建設され、2025年4月から本格稼働しています。
- 本施設では、バイオガス発電や有機肥料の製造が行われているほか、生成された電力や肥料を活用し、最新のEM技術を取り入れた農業を実践しています。
- 2025年度の1年間で、約272,655kgの生ごみの受入れ、約13,500kwhの発電を行っています。本取組を受けたCO₂の削減量としては、約9,180kgとなります。
- 2025年4月から2026年2月までの期間に、69組(524名)が当施設に視察に来ています。
- バイオガス発電を行うバイオサイクルセンターでは、発電とあわせて有機肥料(EMボカシ肥料)の製造を行っています。
- 本事業で製造した有機肥料は、2026年4月から全国でネット販売を開始します。



本事業を通じた地域や団体と連携した取組が拡大しています！

- ユニバーサルビレッジでは、学童農園を設け、隣接する三育小学校と連携の下、環境学習を通じて有用微生物(EM)・食育・資源循環・エネルギー生産について学ぶ取組を実施しています。
- 学童農園を活用し沖縄の野菜を育てる農家(ハルサー)体験にも取り組んでいます。
- 学童農園では、オクラやサツマイモ、ジャガイモ、トマトなどの季節に応じた様々な品目の栽培・収穫を行っています。
- 来年度は、活動の拡大や環境意識の定着等を目指し、花き類の栽培にチャレンジすることや保護者様との連携に向けた取組を予定しております。



第三段階整備の取組が進んでいます！

- 医療福祉・健康増進施設(第三段階)では、施設計画の具体化が進み、病院や老健施設をはじめ、地域交流のためのスペースやリハビリ等で活用する農園の確保が検討されています。
- 第三段階整備の用地は、世界遺産である中城城址に隣接することから、施設整備に係る配慮点等を把握・調整する手続きとして、世界遺産影響評価を行う予定です。
- 施設整備のイメージ動画を村ホームページにて公開しております。以下のQRコードから該当ページにアクセスの上、ご視聴ください。



施設イメージ動画の公開先



- 施設整備に向けた取組と平行して、村福祉課と協力の下、2025年7月より農業を活用した通いの場のモデル事業「遊農くらぶ」を実施しています。
- 来年度も本取組は継続を予定しています。さらに、村福祉課より「健康維持・増進」「生きがい・社会参加」「地域貢献」を目的に、畑で島とうがらしを栽培しコーレーグースを生産する企画の検討も進められています。



【村からのお知らせ】

- 北中城村広報誌「広報きたなかぐすく(2026年3月号)」において、「農を活かした健康・福祉の里づくり事業」の特集記事が掲載されています。



【もっと知りたい方へ】

- 令和6年1月16日(火)より、村役場のホームページで「農を活かした健康福祉の里づくり事業」の紹介が始まっています。
- 「事業概要」からは、第一～第六段階整備の詳しい計画を知ることができます。

